

# 城南保健生活協同組合 第36回 通常総代会

## 第1号議案 2010年度活動のまとめ(案)

### はじめに

3月11日に起きた東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）は、マグニチュード9.0というかつて経験したことのない巨大地震であり、引き続いて発生した巨大津波とともに2万人を超える死者・行方不明者を出す大災害をもたらしました。同時に発生した福島第一原子力発電所の事故は、広範囲にわたる地域住民の避難という事態となり、原発事故の怖さと防災・安全対策の杜撰（ずさん）さをあらためて明らかにしました。私たちの仲間の中にも家族が被災したり、ふるさどが大きな被害を受けてショックを受けている方もおります。城南3法人（城南福祉医療協会・城南医薬保健協働・城南保健生活協同組合）も民医連に結集して、いち早く医師・看護師・事務などの支援や救援募金、必要物資の輸送などにとりくんできました。引き続き、被災者の救済と被災地の一刻も早い復興のためにねばり強い支援を続けていきます。

私たちは、介護事業や薬局運営などの事業活動を展開しながら、区民の立場で保健・医療・介護・福祉の制度改善・減免実施、区民健診の充実などの運動にもとりくんできました。今後も「安心して住み続けられるまちづくり」「地域・職域まるごと健康づくり」において、いっそう頼りにされる存在でありたいと願っています。

### 2010年度活動の特徴

- ① 私たちの活動における重要な柱である健康づくりの分野では、新しい理事の参加もあり、池上本門寺朝市や海岸・八潮地域での青空健康相談会、班会などが積極的にとりくまれました。品川（8回目）・大田（26回目）での健康まつり、さまざまなイベントでの健康チェックなどで奮闘してきました。健康体操教室、保健教室、健康運動サポーター養成講座、わくわくヘルスチャレンジなどにもとりくんできました。
- ② 仲間増やしの活動では、10月からの強化月間にあわせて2回目となる「3法人活動交流集会」を開催するなど、事前準備と相互理解を深めることに努力してきました。月間では各診療所長名の訴えを出すなど「安心して住み続けられるまちづくり」を前面に掲げて訪問と対話を重視し、目標700に対して、500人（71.4%）の到達となりました。班会開催は目標830回に対して901回（108.6%）となり、これまでの700回前後から大きく増やしました。新班が増えたことが特徴です。すべての支部活動を積極的にすすめるための支部再編成は次年度課題としました。
- ③ 大田病院は昨年5月から本館がオープンし、東京都区南部医療圏（品川・大田）の二次救急の中心を担い、差額ベッド代のない安心して入院できる医療機関として奮闘してきました。今年4月には一般病床139床、回復期リハビリ病棟50床、透析施設をもつ病院として全館オープンしました。経済的に困難な人への無料低額診療事業も大森中診療所、大田歯科にも拡大して実施されています。私たちの保健・医療・介護のセンター病院としての期待が強まるとともに、活動を支える共同組織としての城南保健生協の役割発揮がますます求められています。」
- ④ 社会保障改善のとりくみでは、毎月の委員会では「後期高齢者医療制度」「介護保険制度」「国保問題」「消費税と財源」「ピキニ環礁水爆実験」などテーマを決めて学習を行い、署名の推進や支部での運動の活性化、班会での学習にも結びつけることができました。大田病院や社会保障推進協議会、東京民医連

西南ブロックなどとも連携して蒲田駅での街頭相談会、署名宣伝行動、東日本大震災支援募金行動などにもとりくみました。

- ⑤ 認知症対応のグループホームは「みちづか」が7年、「しおかぜ」が2年経過しました。入居一時金なし、生活保護の方も入居できる大田区では貴重な高齢者施設です。どちらも地域の方からの期待と信頼に応えるべく、第三者評価の受審や運営推進会議の定期開催、さまざまなボランティアの参加などで多彩な行事を実施してきました。虹の家しおかぜは立地条件を活かした保育園・小学校との交流や日常的な散歩などで健康維持に努めてきました。みちづかは、スプリンクラー設置を含む防火設備工事が完了して、いっそう安全な家になるとともに、地域のボランティアの参加も得てイベントが増え、地元で溶け込んだ楽しい家づくりがすすみました。
- ⑥ 認知症対応のグループホームを運営し、認知症の方たちを地域で支える立場から、支部を中心に「認知症サポーター養成講座」を開催してきました。また、両グループホームの運営推進会議で学習会を行ったり、東京都生協連の「認知症サポーター交流会」の講師を引き受けるなど、啓蒙活動にも積極的にとりくんできました。今後も「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」は重要なテーマです。
- ⑦ ヘルパーステーションすずらんは、事業の安定化・拡大をめざして若手職員の確保をすすめてきました。今年度は馬込・うのき地域で新規利用者確保はすすみましたが、平和島・蒲田・ゆたかでは前年比で利用者が減少しています。2月からすずらん蒲田は登録事業所を取り下げ、あらためて利用者増、管理体制を確立したうえでうのきとともに登録事業所をめざすこととしました。今後、組合員からの利用者紹介や職員紹介など、協力を得ながら事業活動を前進させる必要があります。
- ⑧ 大森中診療所で行っている「よろず相談」は深刻な不況の影響もあり、毎月20件ほどの相談があります。昨年9月からは月曜から金曜までの週5日の相談体制を確立して生活相談、医療・介護の悩み、労災問題など幅広く対応してきました。この中から生活保護受給となる事例や城南保健生協への加入が多くあり、「いつでも・どこでも・だれでもが安心して良い医療・介護を受ける権利」を保障する実践としても、重要な役割を果たしてきました。

### 年間主要行事のとりくみ

#### 保健予防・健康づくり活動

健康体操を指導できる組合員を本格的に育てていくために、これまでの「健康運動サポーター養成講座」を、指導者を育てるための「健康体操サポーター養成講座」と一般向けの「だれでもできる健康体操教室」に分けて開催しました。指導者を養成する「第1回健康体操サポーター養成講座」は9人が受講し、そのうち2人の組合員が健康体操班会などで活躍しています。

保健教室から「健康づくり教室」に名称を変えて4年ぶりに開催しました。受講者は9人でしたが、講義では質問が多く出され、活発な雰囲気となりました。修了生を班会など保健活動に参加してもらうための契機にしていくことが必要です。

活動の基礎となる班会については、これまで同様、大森糀谷支部、豊支部が活発な班会を行い、ユニークなところでは池上支部で吹矢サークルの班会が誕生。ほかにも新班として、羽田支部・2丁目体操班、六郷支部・自然体操班、海岸八潮支部・東大井班などがあります。



しおかぜ隣の子ども家保育園児との交流

健康な生活習慣を日常の中楽しく定着させるための「第4回わくわくヘルスチャレンジ」(10月～11月)にとりくみました。前年を上回る82人が申し込みましたが、目標である3ヶタの参加者まであと少しでした。

#### 助け合い・まちづくり活動

定例の委員会は毎月開催。委員会では、年度内に2回学習会を大田と品川の2カ所で開催しています。5月と6月に三ツ木診療所と大田区消費者生活センターで『介護の現場から』と題して介護保険で受けられるサービスと受けられないサービスとはどんなものか、その違いは何かなどについて学びました。またグループホームでの生活についても学習しました。2月には『学校にいけなくても大丈夫だよ』を品川と大田で開催。不登校の子どもたちを支援する活動と子どもたちの現状について話を聞きました。

これまで『ボランティア学校』や『認知症サポーター養成講座』を開催してきましたが、今回は違った視点での学習会を行いました。

#### くらしと平和の活動

今年は「平和・社保委員会」を、わかりやすく参加しやすい名称にということで、「くらしと平和委員会」にあらため活動してきました。

委員会は毎月定例で開催。委員会の前の1時間は毎回「学習の時間」を設け、委員だけでなく、幅広い方々に参加を呼びかけました。

今年行った学習は「活動の特徴」にも報告したさまざまな学習を積み重ね、学習を力に支部での運動の活性化や班会での学習にも結びつけることができました。

3・1ピキニデーに代表を送ることができませんでしたが、原水爆禁止世界大会（広島）にはドルフィンから2人の代表を派遣しました。

大田・品川の社会保障推進協議会に加盟して、それぞれの事務局として幹事会・駅頭宣伝などにとりくんできました。

また、署名の目標や到達も確認し、3法人社保共同組織委員会と連携して「組合員お元気ですか訪問行動」も具体化を計画してきました。

#### 文化・スポーツの活動

行事としては、ウォークラリー（2回）、バスハイク（2回）、健康まつり、新春鎌倉ハイキング、ダンスパーティー、駅伝フェスティバルにとりくみました。

日程・参加人数などは「年間主要行事のとりくみ」をご参照ください。

昨年度、悪天候により中止となった駅伝大会は、名称を「駅伝フェスティバル」とあらため、20チームの参加を得て実施しました。距離は10kmとして、より参加しやすい大会をめざしました。天候にも恵まれアットホームな雰囲気の中で楽しい企画となりました。

新春ダンスパーティーについては、ダンス教室の会員を増やしてさらに参加者を増やすことが課題です。

大田・品川健康まつりは今年も実行委員会事務局として参加しました。保健生協の支部からの模擬店の出店は4支部、6事業所・職場でした（まつり全体では54店）。中央舞台に組合員有志のみなさんが多数出演

しました。

委員会の定期開催をめざしましたが3回の開催にとどまり、新たな行事の企画はできませんでした。各支部での文化・スポーツ委員の選出を追求し委員会メンバーを増やす必要があります。

各行事が支部づくり、活動強化になることをめざしました。バスハイクへの参加がその後の支部活動への参加のきっかけとなったり、健康まつりに支部として出店する中で支部の活動につながるなどの前進面がありました。

## 調剤・介護・事業活動

### ●ゆたか調剤薬局

2年に一度の診療報酬改定があり、薬価の引き下げによる調剤報酬減が見込まれましたが、在庫管理の更なる徹底や技術料アップのための薬歴の充実などにより大幅な減収はなく、予算超過することができました。在宅医療では訪問服薬指導をこれまで以上に行い、ゆたか診療所をはじめとする他職場との連携を密にしたりくんできました。薬学6年生の1期生の長期にわたる実務実習も2人受け入れ、薬局の活動にも良い影響がありました。来年度も引き続き実習生を受け入れ、薬局の活動の充実と信頼される薬局づくりをめざしていきます。

### ●ヘルパーステーション すずらん

訪問介護は利用者の施設入所、永眠などで大きく変動があり、年間を通して安定した件数や時間を確保することは困難です。この間、病院の早期退院や癌末期の方の家に帰りたい思いに寄り添って、医療連携を密にしながら介護を展開してきていますが、重度に合わせたケアの仕方や知識、家族援助など広範で高度な技術が求められ、介護職員のいっそうの学習や技術の向上が必要とされています。介護の専門職として医療やケアマネジャー、包括支援センターなどとの連携を密に行うことが今まで以上に求められてきています。法令順守、感染対策や教育委員会などの委員会活動も活発化し、サービスの質向上にとりくんできました。

今年度は第1回目の「かがやき事例報告集会」にとりくみ、確信になりました。今後も継続していきます。

介護職員は働き甲斐や楽しさを感じて働いていますが、介護報酬の低さや絶対的な人手不足は問題であり、人の確保と計画的な後継者の育成、安定した新規の利用者確保は大きな課題です。2012年度の介護保険制度改定に向け最も利用者のそばにいる私たちが、利用者を守る立場で声を上げていきたいと思えます。

### ●居宅支援事業

今年度はケアマネジャーの交代もありましたが利用者の重症化や困難な方が増えている中で奮闘してきました。利用者の生活実態を深く捉え、必要な介護サービスが提供できるケアプラン作成のために、しっかりした眼と構えが必要です。ケースカンファランスや行政の研修会など保障しあい、積極的に学び情報共有しあっています。2011年度はすずらんとしての居宅支援事業のあり方を検討する年です。

### ●グループホーム・虹の家

「虹の家みちづか」は入居者の入れ替わりや困難な方の受け入れもありましたが、大きな事故もなく運営できました。入居者ができることを大切にしたりくみを重視し、“できること探し”をしよう、“こんなこともできる”などを職場会議で報告し合ってきました。体力や家事のことなど、新たな気づきもありました。玄関の人センサーの改善で無駄な音も少なくなり、より安全に暮らせるようになりました。スプリンクラーを含む防火対策工事は国・都・区の補助金を得て行い、しおかげに一時移動するなど協力を得て、無事終了しました。開設から丸7年が経過し、故障や修繕が多くありました。

「虹の家しおかげ」は2年が経過し、入居者の入院や交代などもありましたが、安心・安全・信頼の家づくりをめざすとともに、職員体制も若返りをはかってきました。毎月の保育園児との交流会、季節ごとの行事やお花見、敬老会など、近隣の方々、町会、民生委員、ボランティアとの交流もさらに拡がり、運営推進会議も定期開催に努めてきました。大田病院からの実習学生の受け入れでもたいへん喜ばれています。

### ●本部・事務局

春・秋のバスハイク、ウォークラリー、ダンスパーティー、鎌倉ハイキングなど、各種イベントの成功、助け合いの会「たんぽぽ」の活動、各支部・班活動の支援、くらしと平和・保健教育・助け合いまちづくり・機関紙などの委員会活動の事務局、健康まつりの事務局など、さまざまな課題にとりくみ前進させてきました。第1回早春駅伝フェスティバルは天候に恵まれ無事開催することができました。映画「おとうと」上映運動の事務局、社会保障の活動分野でも大田区、品川区の地域社保協に参加して事務局を担ってきました。

### 《機関紙活動》

年間10回の定期発行と内容充実にも努めてきました。編集委員会を毎月定例で開催し、より充実した紙面にしていく旨、話し合いをすすめてきました。ヘルパーステーションの「かがやき事例紹介」は連載とし、とりくみを紹介しています。

《仲間増やし・班会開催などの組織運営》3月までの到達は表の通りです。

### 生協組合員拡大実績（3月まで）

支部	拡大目標	拡大実績	達成率	前年実績	前年差	前年比
西品川	60	16	26.7%	28	-12	57.1%
品川	5	1	20.0%	1	0	-
海岸八潮	20	6	30.0%	11	-5	54.5%
ゆたか	75	55	73.3%	76	-21	72.4%
大井	10	1	10.0%	2	-1	50.0%
中延	40	13	32.5%	23	-10	56.5%
小山	10	4	40.0%	1	3	400.0%
六郷	75	36	48.0%	59	-23	61.0%
羽田	10	10.5	105.0%	8	2.5	131.3%
蒲田西	5	4	80.0%	6	-2	66.7%
馬込	30	30	100.0%	32	-2	93.8%
池上	10	2	20.0%	1	1	200.0%
うのき	70	82	117.1%	49	33	167.3%
大森糀谷	220	198.5	90.2%	191	7.5	103.9%
大森西北	60	41	68.3%	49	-8	83.7%
全体合計	700	500	71.4%	537	-37	93.1%

### 班会開催実績（3月まで）

支部	班会目標	班会開催	達成率	前年実績	前年差	前年比
西品川	40	47	117.5%	38	9	123.7%
品川	5	0	0.0%	0	0	-
海岸八潮	80	69	86.3%	74	-5	93.2%
ゆたか	200	260	130.0%	194	66	134.0%
大井	20	8	40.0%	11	-3	72.7%
中延	70	18	25.7%	60	-42	30.0%
小山	5	1	20.0%	1	0	-
六郷	50	128	256.0%	41	87	312.2%
羽田	50	57	114.0%	49	8	116.3%
蒲田西	10	11	110.0%	12	-1	91.7%
馬込	40	38	95.0%	30	8	126.7%
池上	20	21	105.0%	10	11	210.0%
うのき	50	44	88.0%	41	3	107.3%
大森糀谷	140	128	91.4%	117	11	109.4%
大森西北	50	71	142.0%	50	21	142.0%
全体合計	830	901	108.6%	728	173	123.8%

## 【各支部の報告と方針】

総代会に向けて各支部で検討中です。

### 《経営改善のとりくみ》（2010年度決算・監査報告と2011年度予算は別途提案）

2000年の介護保険制度が施行されて以降、城南保健生協としては訪問介護事業を順調に拡大し、2カ所のグループホーム開設などを成功させ、大きな制度変更がされた2006年度以外は黒字を積み重ねてきました。1999年には7,634万円にまで到達した累積赤字を縮小しながら経営改善をすすめてきました。しかし、2010年度は利用者の伸び悩み、材料費増、人件費増などの影響により3月まで大きな赤字で経過しています。最終的には5月下旬に決算処理が終了し、監査を経たうえで報告します。

### 報告事項 長期住所不明組合員の自由脱退（みなし自由脱退）手続きの結果について

2010年3月1日から4月30日までの2ヵ月間、城南保健生協の主たる事務所および各事業所に備え付けた長期住所不明組合員の名簿に基づき公示を行った結果、以下の通り確認しましたので報告します。

- ・長期住所不明組合員の自由脱退処理 3,529人
- 出資金607万2,000円



ドルフィン海の合宿

### 2010年度「主要行事」のとりくみ

春のバスハイク	4月25日(日)	富士山と河口湖 208人
中村哲医師講演会 (大田九条の会主催)	6月15日(火)	アプリコ大・小ホール
春のウォークラリー	5月9日(日)	立会川を歩こう 15人
学習会「介護の現場から」	5月8日(土)	三ツ木診療所 10人
第8回品川健康まつり	5月15日(土)	戸越公園 800人
誰でもできる健康体操教室	6月9日(水)	品川中小企業センター 10人
第1回健康体操 サポーター養成講座	5月19日(水)~	9人修了
「アンダンテ～稲の旋律」 上映会	5月27日(木)	アプリコ大ホール 950人
全国鶏の木まつり	7月25日(日)	健康チェック
こらぼ夏まつり	7月25日(日)	健康チェック
ドルフィン第27回海の合宿	7月25日(日) ~26日(月)	大浦海岸 75人
原水爆禁止世界大会広島大会	8月4日(水) ~6日(金)	広島 生協から2人
ヘルパー全体交流会	9月10日(金)	大田生活センター 80人
秋のウォークラリー	9月17日(日)	目黒川を歩こう 8人
みちづか敬老会	9月21日(火)	みちづか
しおかげ敬老会	9月22日(水)	しおかげ
仲間増やし月間	10月1日 ~12月15日	
第4回わくわく ヘルスチャレンジ	10月1日 ~11月30日	82人が参加
生協組合員活動と 医療・介護活動交流会	10月9日(土)	大田生活センター 85人
第38回大田区生活展	10月16日(土) ~17日(日)	大田区消費者生活センター 骨密度測定
第26回大田・品川健康まつり	10月24日(日)	丸子橋緑地 4,000人
秋のバス旅行	11月14日(日)	群馬・わたらせ渓谷 100人
第8回健康講座「COPD」 工藤翔二医師	12月4日(土)	大井町・阪急ホテル
「おとうと」上映会	12月21日(火)	大田区民プラザ 800人
新春鎌倉ハイキング	1月16日(日)	鎌倉アルプス 24人
第28回 新春ダンスパーティー	1月28日(金)	大田区消費者生活センター 42人
ゆたか診療所 60周年記念祝賀会	1月29日(土)	品川・きゅりあん 350人
第1回駅伝フェスティバル	3月6日(日)	20組80人が参加。好天に恵まれ全チーム完走
東日本大震災支援募金 ・健康相談会	3月19日(土)	JR蒲田駅西口 45人参加

この他、各地域で「健康相談会」「新春のつどい」「学習会」「バザー」などが多彩にとりくまれました。